

令和8年度 学校経営計画

茨城県立協和特別支援学校

目指す学校像

一人一人の笑顔があふれる活力ある学校『チーム協和』づくり
 ◆安全安心で助け合える学校 ◆主体性を育む学校 ◆地域と連携する学校

中期的目標

- 1 児童生徒一人一人の個別の教育計画に沿った教育の推進
- 2 主体性を育む授業改善の実践と「自立と社会参加」に向けた「生きる力」の育成
- 3 児童生徒の健康と安全を守り、安心できる環境での指導の充実と心の育成
- 4 地域と連携し、顔の見える支援体制や信頼関係の構築

本年度の重点目標

重点項目	重点目標
安全で安心できる学校づくりと心の育成	①感染症対策、安全点検、ヒヤリハット事例の検証などを行い、保護者・スクールバス乗務員等と連携した登下校時の安全確保に努め、安全で安心できる学校づくりに努める。 ②各種訓練を実施し対応スキルや危機管理意識の向上に努め、課題を基に内容や対応マニュアル等の見直しを行い、関係機関（警察・消防・教育機関・学校医等）との連携強化を継続する。 ③コンプライアンス推進委員会やいじめ防止対策会議などを中心に、いじめ・体罰・差別・虐待等がなく、自己肯定感の育成に努めるとともに、教職員一人一人の人権を意識したかかわりと支援の充実を図り、『チーム協和』としての学校づくりに努める。 ④児童生徒の発達に応じた健全な心と体の育成に向けた支援を行い、生活習慣の確立の徹底・改善に努め、体力づくりの推進を図る。
主体性を育む授業改善	⑤単元・題材計画に基づいた授業改善に取り組み、自分から取り組む児童生徒の育成を目指す。 ⑥専門家と連携した授業実践を通して自立活動全般に対する理解を深め、実践的指導力の向上を図る。 ⑦キャリア教育の視点を踏まえ、小学部・中学部・高等部の系統的な生きる力の育成を図る。 ⑧ICT 機器の効果的活用と個々の児童生徒の実態や興味関心に即した教材教具の工夫を推進する。
地域との連携の推進	⑨コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校」へ転換し、地域と一体となって特色ある学校づくりを目指す。 ⑩保護者同士のかかわりの充実をはかり、時代のニーズに応じた新しいPTA 活動を推進する。 ⑪継続して「特別支援教育地域連携協議会」を設置し、センター的機能の充実を図り、地域における特別な支援を必要とする乳幼児・児童・生徒にかかわる相談支援を推進し、地域の関係機関との連携を密にした支援ネットワークづくりに努める。 ⑫交流及び共同学習、児童生徒の作品発表等の積極的な地域参加をとおして、本校の教育活動に関する情報発信・理解啓発に努める。また、校外での実習等を計画的に行うことで、より地域資源の活用に努め、効果的な事業所の開拓や連携を図る。

一人一人の笑顔があふれる活力ある学校 『チーム協和』

【誇り】目指す学校像

①



安全な環境で
安心して
生活できる
学校

②



児童生徒・保護
者、教職員が
主体的に学び
合い、支え合
える学校

③



保護者や地域
の方々から信
頼され開かれ
た学校

安全で安心できる教育環境を整備し 笑顔で生き生きと学べる学校

- ① 児童生徒の観察と感染対策を含めた安全な環境
→事故防止、登下校の安全対策、感染症対策
- ② 避難訓練・緊急時対応訓練による対応力の強化
→訓練の実施と改善、防災教育の実施
- ③ 人権を意識したかわわりと支援
→いじめ・体罰の防止、自己肯定感の育成、
教職員のコンプライアンス意識の向上
- ④ 健全な心と体の育成に向けた支援
→心の健康、生活習慣の確立と改善、体力づくりの推進

主体的・対話的で深い学びのできる 授業づくりをめざす学校

- ① RPDCAサイクルを活かした授業の充実
→自立活動の充実、個別の指導計画の活用
- ② 実践的指導力の向上
→外部専門家との活用
- ③ 小→中→高の系統的な生きる力の育成
→キャリア教育全体計画の活用
- ④ 主体性を育てる指導支援の工夫
→ICTの活用、SDGsの視点



【笑顔】目指す児童生徒像

①なかよく ②げんきで ③じぶんから

笑顔で挨拶し、仲
良く生活できる子
心も体も元気で、
たくましい子
主体的に自分か
ら活動できる子

教育目標

児童生徒一人一人の
教育的ニーズに応じた
適切な教育支援を行い、

児童生徒のもつ能力や
可能性を最大限に伸ばして
自立と社会参加をめざし、

持続可能な地域社会で
心豊かに生きていく力を
育成する。



【信頼】目指す教師像

①

豊かな人間性
と教育愛

②

一人一人の
人権を尊重

③

活力あふれる
発信力

④

働き方
改革力

切れ目ない支援の充実



関係機関との
連携強化



教員の専門性の
強化による授業
づくりの充実



発信力の向上



ICT機器を活用
した授業の質の
向上

地域や関係機関との信頼関係を築き 連携を深められる学校

- ① 保護者・地域との連携、地域参加、理解促進
→PTAや地域への発信の推進
- ② 開かれた学校づくりの推進
→保護者や地域との関係確立
- ③ センター的役割の充実
→幼・小・中・高への相談支援、関係機関との連携
- ④ 地域資源、ボランティア等の活用
→地域との連携強化、事業所の開拓

教職員の行動指針

私たち、協和特別支援学校の教職員は

- ① 心と体の健康を保ち
 - ② 常に笑顔で
 - ③ 志高く
 - ④ 柔軟性をもち
 - ⑤ チーム一丸となって
- 安心・安全な学校を目指し、信頼される社会人として、児童生徒のモデルとなるよう努めます。

